おかげさまで

大館能代空港開港20周年

▲記念品の贈呈

▲堀井副知事のあいさつ

▲開港20周年を祝いくす玉の開披

▲手を振ってお見送り

▲搭乗者へ記念品の配付

大館能代空港開港20周年記念式典が7月18日に同空港ターミナルビルで行われ、秋田県をはじめ、大館能代空港利用促進協議会、全日本空輸株式会社など関係者約60人が参加し節目の年を祝いました。

20周年を迎えさらなる飛躍を

式典では、はじめに主催者を代表して堀井啓一副知事が「昨年度は東京線の搭乗者数が過去最高の13万8000人を超え、搭乗率も60％を超えるなど、利用者は着実に増えつつある。今後のさらなる飛躍のために、引き続き地元市町村、圏域住民と一体となって利用拡大に取り組んでいく」などとあいさつしました。

続いて、開港20周年を記念し、この日東京便に搭乗する方の中から抽選で「無料航空券ペア1組」「秋田犬ぬいぐるみ」「きりたんぽ玉手箱セット」の記念品がそれぞれ贈呈されました。

このあと、国や県、空港関係者らによってくす玉が開披されると、会場から大きな拍手が沸き起こったほか、南鷹巣保育園の園児が可愛らしいお遊戯を披露して会場を盛り上げ、20周年の節目を喜び合いました。

また、この日は秋田犬が乗客をお出迎えしたほか、出発便のお見送り、搭乗者へ記念品の配付など、多彩な催しが行われ、大館能代空港の新たな門出を祝いました。

空港インター開通で利用拡大に弾み

3月21日に日沿道大館能代空港インターチェンジが開通しました。空港と高速道路が直結したことにより、県内外の観光地へのアクセスが大幅に向上。広域周遊観光ルートが増え、北東北観光の空の玄関口としての利用がますます便利になりました。

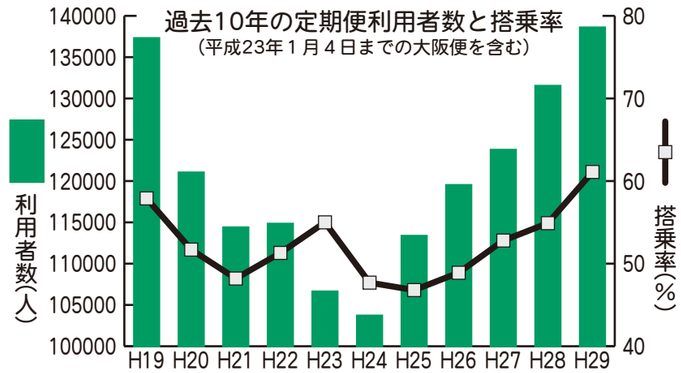
また、道の駅「大館能代空港」への立ち寄り客が増加。ターミナルビルのレストランと売店の売り上げも伸びており、開通効果が表れてきています。

みんなで利用し　さらに便利な空港に

利用者数は過去最高を更新しているものの、全国の空港の中では利用者数、利用率ともに最下位レベルです。東京2往復を維持し、将来の増便、新規路線開拓に繋げるため、利用促進の取り組みに傾注していくことが重要です。

利用促進協議会では、平成31年度までに年間利用者数14万5000人を目標に掲げ、空港のPR強化や企業向けに旅行商品造成助成事業などを展開するほか、北秋田市では、市民の皆さんに冬期間の運賃助成を実施します。

県北地域の熱望が実り建設された大館能代空港。開港20周年を機に空港があることの意義を考え、皆さんで「私たちの空港」を大きく育てていきましょう。



▼平成29年度の利用者数138,584人

▼東京便の利用者数は平成27年度から３年連続して過去最高を更新

▼平成29年度に搭乗率が11年ぶりに60％台に到達

▼平成24年度から平成29年度までの利用者増加率133.6％

「8」の付く日は秋田犬がお出迎え！

秋田犬の里ならではのおもてなし

大館能代空港では『忠犬ハチ公』にちなみ、毎月「8」の付く日の午前到着便のお客様を秋田犬がお出迎えしています。秋田犬と直接触れ合えるとあって、空港利用者にとても好評です。「8」が付く日以外でも「大きな秋田犬親子のぬいぐるみ」がお出迎えしてくれます。ぜひ、秋田犬との触れ合いを体験してみてください！

フライトスケジュール

	便名	出発	到着
羽田発	ANA787	8:50	10:00
	ANA789	16:15	17:25
大館能代発	ANA788	11:00	12:20
	ANA790	18:05	19:20